



巻頭言

「美しい田園」のために

(財)日本植物調節剤研究協会 理事 窪田隆一
三共アグロ(株) 取締役社長

ベストセラーとなっている「国家の品格」の最終章で、品格ある国家の指標として掲げられているなかに「独立不羈」「美しい田園」という言葉がありました。

「独立不羈」の不羈は拘束されないという意味で、日本が自らの意思に従って行動するためには何が必要かという場面で、食糧自給率の向上が不可欠であることが述べられておりました。

「美しい田園」は、経済原理だけに左右されない日本人の情緒的部分の象徴として無くてはならないものであるとともに、農家が疲弊していない世の中の象徴といった記述であったと思います。

品格ある国家であるために農業が重要な要素を占めているという表現は、農業に関わる者としてうれしくもあり、また責任を感じる言葉でもあります。

今回、「美しい田園」と農業企業のあり方について所感を述べたいと思います。

この文章を読んだ後「美しい田園」を思い、あらためて現実に田植えされた水田を見ますとその美しさに感動し更に心の安らぎを覚えます。山々の若葉、稲田の水面、規則正しく移植された水稻（もちろん直播もありますが）といったものは、桜の次に初夏を告げる風物詩でもあります。そして日本人として無条件に美しく懐かしいという感情を抱かせるものであり、私達の情緒を構成する根本の一つと考えます。しかし、昨今の農業を取り巻く環境下で、残念ながら徐々に「美しい田園」はその姿を変えつつあります。

農業生産資材を提供する会社も時代の流れに沿った変革を余儀なくされていますが、論理的見地だけでなく、日本人としての原風景を守り続けていくために私達に何ができるかは非常に重要な課題です。

その答えの一つとして「美しい田園を守る人々＝農業生産を継続している農家」と考えると、「農家の皆様のためになる資材提供」「日本農業への貢献」といった切り口があるとも言えます。

具体的に農家の皆様のためになる資材の特性として何が必要かを考えたとき、「高い防除効果と安全性」「省力」「低コスト」といったキーワードが出てきます。こういった具体的指標の多くを植調協会が歴史的に牽引してきたことは誠に喜ばしい限りです。弊社も一発処理剤、ジャンボ剤などで微力ながらお手伝い出来たことをうれしく感じております。

もう一つの答えとして、日本農業ひいては日本国民への貢献として「安全な製品の提供」「的確な製品情報の提供」があると思います。これは本年から施行されるポジティブリストにも関連し、又、企業コンプライアンスにも通ずるものがあります。ちなみに、コンプライアンスは一般的には法令遵守という意味ですが、comply（従う・応じる）から派生した言葉であることから、世の中の要請に従い・応じるといった要素もあり、法を守れば良いだけでなく、高い道徳観で世のためになるといった意識も含んでいると解釈しています。実は「高い道徳」も前述の品格ある国家の指標として掲げられていたものでした。

世の中の様々な場面で論理的かつ効率的であるべきですが、理念の根幹、仮説のスタートにおいて日本の文化や歴史を土台にした情緒的な要素が大切と考えます。日本において日本企業ならではの取り組みを続け、これからも日本の環境・風土に即した農業、剤型、情報の提供等で「美しい田園」を支えていく使命があると思っています。